

本を読んで壁を越えろ！

ほそえさちよ

アメリカ合衆国大統領がトランプ氏になる時、メキシコとの国境に壁を造って、人の行き来をできなくするという公約に皆、驚いたものだった。けれども、その後の報道でもっと呆れたのは、大統領執務室の模様替えの様子。たくさん本の本が撤去され、『トランプ自伝』だけが置いてある本棚や大統領夫人が図書館で子ども達に読み聞かせをするときに、本を開いて見せながら読むスタイルをとらなかつたということだ。オバマ氏が書店で本を購入する姿を取材させたり、夫人とともに『かいじゅうたちがいるところ』を読み聞かせたりしていた姿から考えると、トランプ氏の本への態度はあまりにも対照的だった。

そんなとき、アメリカのグラフィック・ノベル作家であるジーン・ルエン・ヤング (Gene Luen Yang) のサイトで、『The Reading Without Walls Challenge!』(壁なき読書にチャレンジ!)と書かれたイラストレーションを見た。本を何冊も積み重ねた階段のようなものを登って、高い石造りの壁の向こうを見渡す少年少女の姿が描かれて

いる。彼は『アメリカン・ボーン・チャイニーズ』(American Born Chinese, 2006, 未訳)で、アイデンティティーの葛藤を描き出した中国系アメリカ人の作家。このグラフィック・ノベルは、現代アメリカ社会に暮らす中国系少年の話と西遊記に材をとった話、古いアメリカン・コミックスで道化的に描かれるチャンキーというキャラクターの出でくる話が次第に混じり合って、一つの物語へ収斂されるのが面白い。アメリカン・コミックスのテイストを生かしたくつきりとしたラインのカラフルなイラストは、本を読み慣れていない読者層が手に取りやすいのではないだろうか。優れたヤングアダルト作品に与えられるプリンツ賞の受賞作でもある。

ジーン・ルエン・ヤングは二〇一六年に米国図書館協会のヤングアダルト文学アンバサダー(大使)に任命され、先に紹介した「壁なき読書にチャレンジ!」というタイトルで子どもたちに講演しているのだという。そこでは、1..あなたに似ていないキャラクターやあなたのように